



## 安全データシート (SDS)

### 1. 化学品及び会社情報

昭和化学株式会社  
 東京都中央区日本橋本町4-3-8  
 担当  
 TEL(03)3270-2701  
 FAX(03)3270-2720  
 緊急連絡 同上  
 改訂日 2022/01/19  
 SDS整理番号 07081129

製品等のコード : 0708-1129

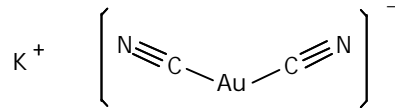
製品等の名称 : シアン化金(I)カリウム〔ジシアノ金(I)酸カリウム〕

推奨用途 : 試薬

参考：その他の用途(当該製品規格に限定されない一般的な用途。規格により用途は相違。)  
 金メッキ、医薬原料 など



### 2. 危険有害性の要約



#### GHS分類

#### 物理化学的危険性

可燃性固体 : 区分に該当しない  
 自然発火性固体 : 区分に該当しない  
 自己発熱性化学品 : 区分に該当しない  
 水反応可燃性化学品 : 区分に該当しない

#### 健康に対する有害性

急性毒性(経口) : 分類できない  
 皮膚感受性 : 区分1  
 特定標的臓器毒性(単回ばく露) : 区分2(肝臓)

注意喚起語 : 警告

#### 危険有害性情報

アレルギー性皮膚反応を引き起こすおそれ  
 肝臓の障害のおそれ

#### 注意書き

##### 【安全対策】

粉じん、煙、ガス、ミスト、蒸気、スプレーを吸入しないこと。  
 取扱い後は、よく手を洗うこと。  
 この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。  
 汚染された作業衣は作業場から出さないこと。  
 保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面を着用すること。

##### 【応急措置】

皮膚に付着した場合：多量の水と石鹸で洗うこと。  
 ばく露またはばく露の懸念がある場合：医師に連絡すること。  
 皮膚刺激又は発疹が生じた場合：医師の診察、手当を受けること。  
 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。

##### 【保管】

直射日光を避け、容器を密閉し冷暗所に施錠して保管すること。

##### 【廃棄】

内容物や容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

(注) 物理化学的危険性、健康に対する有害性、環境に対する有害性に関し、上記以外の項目は、現時点で「区分に該当しない(分類対象外も該当)」又は「分類できない」である。

## 3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別	: 化学物質
化学名	: ジシアノ金 ( I ) 酸カリウム (別名) シアン化金(I)カリウム、ニシアノ金(I)酸カリウム、シアン化第一金カリウム、ジシアニド金酸 ( 1 - ) カリウム (英名) Gold(I) potassium cyanide、Gold potassium cyanide、Potassium dicyanoaurate(1-)、Potassium dicyanoaurate ( 237-748-4 )、Aurate(1-)、bis(cyano-.kappa.C)-、potassium (1:1) (TSCA名称)
成分及び含有量	: ジシアノ金(I)酸カリウム、 90.0%以上
化学式及び構造式	: $K[Au(CN)_2]$ 、構造式は上図参照(1ページ目)。
分子量	: 288.10
官報公示整理番号	: 化審法: (1)-38「シアン化第一金カリウム」 安衛法: 公表化学物質(化審法番号を準用)
CAS No.	: 13967-50-5
EC No.	: 237-748-4
危険有害成分	: ジシアノ金(I)酸カリウム ・毒物劇物取締法 毒物「無機シアン化合物」

## 4. 応急措置

吸入した場合	: 呼吸が困難になった時は、新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。 気分が悪い時は、医師の治療を受ける。
皮膚に付着した場合	: 直ちに、汚染された衣類、靴などを脱ぐ。 皮膚を多量の水と石鹸で洗う。 皮膚刺激又は発疹が生じた時は、医師の診察、手当を受ける。 汚染された作業衣は作業場から出さない。 汚染された衣類を再使用する前に洗濯する。
目に入った場合	: 直ちに、流水で15分以上注意深く洗う。次に、コンタクトレンズを着用して容易に外せる場合には外して洗うこと。洗浄を続ける。まぶたを親指と人さし指で広げ眼を全方向に動かし、眼球、まぶたの隅々まで水がよく行き渡るように洗浄する。 眼の刺激が持続する場合は、医師の診断、治療を受ける。 眼刺激が消失しても、遅れて障害が現れることがあるので、必ず医師の診断を受ける。
飲み込んだ場合	: 直ちに医師に連絡する。 速やかに、口をすすぎ、うがいをする。 大量の水を飲ませ、指を喉に差し込んで吐かせる。 意識がない時は、何も与えない。 気分が悪い時は、医師の診断、治療を受ける。
予想される急性症状及び遅発性症状	: 情報なし
応急措置をする者の保護	: マウスツーマウスによる人工呼吸を行う時は、被災者の呼気に含まれる猛毒のシアン化水素ガスに十分注意する。
医師に対する特別注意事項	: シアン化物による中毒であることを医師に告げる。

## 5. 火災時の措置

適切な消火剤	: 大量の水
使ってはならない消火剤	: 炭酸ガス(猛毒のシアン化水素ガスが発生するおそれ)
特有の危険有害性	: 火災によって刺激性、腐食性又は毒性のガス及びヒュームが発生するおそれがある。 加熱あるいは水の混入により容器が爆発するおそれがある。
特有の消火方法	: 危険でなければ火災区域から容器を移動する。 移動不可能な場合、容器及び周囲に散水して冷却する。 消火後も、大量の水を用いて十分に容器を冷却する。
消火を行う者の保護	: 消火作業の際は、適切な空気呼吸器、化学用保護衣を着用する。

## 6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置	: 漏洩区域は、関係者以外の立入りを禁止する。 漏洩エリア内に立入る時は、保護具を着用する。 風上から作業し、粉じん、蒸気、ガスなどを吸入しない。 密閉された場所に立入る時は、事前に換気する。
環境に対する注意事項	: 河川、下水道、土壌に排出されないように注意する。
回収、中和	: 漏洩物を掃き集め、密閉できる空容器に回収する。 回収した漏洩物は、後で産業廃棄物として適正に廃棄処分する。

- 後処理として、漏洩場所は次亜塩素酸カルシウムを水に溶かして散布し、残留するシアン化合物を分解する。その後、大量の水を用いて洗い流す。
- 封じ込め及び浄化の方法・機材  
 二次災害の防止策  
 : 危険でなければ漏れを止める。  
 : 付近にある酸類を遠ざける。  
 : 事故の拡大防止を図るため、必要に応じて関係機関に通報する。  
 : 排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

- 取扱い  
 技術的対策 : 本製品を取扱う場合、必ず保護具を着用する。  
 粉じん、ミスト、蒸気、ガスの発生を防止する。  
 粉じんの堆積を防止する。
- 局所排気・全体換気  
 安全取扱い注意事項 : 換気装置を設置し、局所排気又は全体換気を行なう。  
 : すべての安全注意を読み理解するまで取扱わない。  
 : 容器を転倒させ、落下させ、衝撃を加え、又は引きずるなどの取扱いをしてはならない。  
 : この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしない。  
 : 取扱い後はよく手を洗う。
- 接触回避 : 湿気、水、高温体との接触を避ける。
- 保管  
 技術的対策 : 保管場所は耐火構造とし、出入口は施錠する。  
 保管場所は、採光と換気装置を設置する。
- 保管条件 : 直射日光や高温多湿を避けて保管する。  
 : 容器を密閉して冷暗所に保管する。  
 : 一定の場所を定めて、施錠して保管する。  
 : 貯蔵する所には、赤地に白文字で「医薬用外毒物」の表示を行う。  
 : 混触危険物質、食料、飼料から離して保管する。
- 混触危険物質 : 酸、強酸化剤（硝酸、硝酸銀、硝酸第二水銀、過塩素酸マグネシウム等）  
 容器包装材料 : ポリエチレン、ポリプロピレン、ガラスなど。  
 : 金属製容器、食品用容器を使用しないこと。

## 8. ばく露防止及び保護措置

- 管理濃度 : 3mg/m<sup>3</sup> (シアンとして)  
 許容濃度 (ばく露限界値、生物学的ばく露指標) :  
 日本産衛学会 : 5mg/m<sup>3</sup> (シアンとして、最大許容濃度)  
 ACGIH : TLV-TWA 5mg/m<sup>3</sup> (シアンとして)
- 設備対策 : 取扱場所には局所排気又は全体換気装置を設置する。  
 : この物質を貯蔵ないし取扱う作業場には洗眼器と安全シャワーを設置する。
- 保護具  
 呼吸器の保護具 : 呼吸器保護具 (シアンガス用防毒マスク等) を着用する。  
 手の保護具 : 保護手袋 (塩化ビニル製、ニトリル製など) を着用する。  
 眼の保護具 : 保護眼鏡 (普通眼鏡型、側板付き普通眼鏡型、ゴーグル型) を着用する。
- 皮膚及び身体の保護具 : 長袖作業衣を着用する。  
 : 必要に応じて保護面、保護長靴を着用する。
- 衛生対策 : この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしない。  
 : 取扱い後はよく手を洗う。  
 : 作業衣を家に持ち帰ってはならない。  
 : 保護具は保護具点検表により定期的に点検する。

## 9. 物理的及び化学的性質

- 物理状態  
 性状 : 結晶粉末  
 色 : 白色  
 臭い : 無臭または弱いアンモニア臭  
 pH : 6.5 ~ 8.5 (1%水溶液)  
 融点 : 分解  
 凝固点 : データなし  
 沸点 : 分解  
 引火点 : データなし  
 可燃性 : 不燃性  
 爆発範囲 : データなし  
 蒸気圧 : データなし  
 相対ガス密度 (空気 = 1) : データなし  
 密度又は相対密度 : 3.45  
 比重 : データなし

溶解度	: 水に溶ける (12.5g/100g、20 )。
オクタノール/水分配係数	: エタノール、ジエチルエーテルに溶けにくい。
発火点	: データなし
分解温度	: データなし
粘度	: データなし
動粘度	: データなし
粒子特性	: データなし
GHS分類	
可燃性固体	: 本品は不燃性であることから、区分に該当しないとした。
自然発火性固体	: 本品は不燃性であることから、区分に該当しないとした。
自己発熱性化学品	: 本品は不燃性であることから、区分に該当しないとした。
水反応可燃性化学品	: 水溶解度が12.5g/100g (20 )であり、水に対して安定であると 考えられるので、区分に該当しないとした。

## 10. 安定性及び反応性

## 安定性 (反応性・化学的安定性)

危険有害反応可能性	: 通常の取扱条件において定である。 酸又は空気中の二酸化炭素と接触すると、猛毒で引火性のシアン化水素を発生する。 水溶液は酸、塩素で分解する。 強酸化剤 (硝酸塩など) と混合、接触すると爆発するおそれがある。
避けるべき条件	: 高熱、日光
混触危険物質	: 酸、金属、強酸化剤 (硝酸、硝酸銀、硝酸第二水銀、過塩素酸マグネシウム等)
危険有害な分解生成物	: シアン化水素、窒素酸化物

## 11. 有害性情報

急性毒性	: 経口 データがないので分類できない。 ただし、シアン化物であり毒性が高いと考えられる。 経皮 データがないので分類できない。 吸入 (蒸気) データがないので分類できない。 吸入 (粉じん) データがないので分類できない。
皮膚刺激性/刺激性	: 金めっきに用いる本物質の水溶液に皮膚刺激性があると記述している文献もあるが、データ不足のため分類できない。
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	: データがないので分類できない。
呼吸器感受性又は皮膚感受性	: データがないので分類できない。
生殖細胞変異原性	: 分類できない。 なお、CICAD(J)61(2004)およびPIM G003(WHO/ICPS, 1997)ではシアン化物には変異原性がないとされている。
発がん性	: ACGIH、IARC、EPAに記載がないので分類できない。 シアン化物としてIRIS(1991)はD(区分に該当しない相当)と分類しているが、データ不足のため分類できない。
生殖毒性	: データ不足のため分類できない。 本製品のデータはなく、CICAD(J)61(2004)には「シアン化物は明らかに母獣に毒性がある投与量または濃度でのみ発生に対する有害な影響を誘起する」との記述があるものの、データ不足のため分類できない。
特定標的臓器毒性 (単回ばく露)	: Priority 2文書のRTECS(2004)に、ヒトの肝臓への影響が2件報告されており、区分2 (肝臓)とした。 肝臓の障害のおそれ (区分2)
特定標的臓器毒性 (反復ばく露)	: Priority 3のNLM TOXNET/TOXLINE検索文献に、職業ばく露により皮膚(爪)に影響があるとの報告があるが、データ不足のため分類できない。
誤えん有害性	: データがないので分類できない。

\*\*\* 参考【シアン化銀( ) [CAS No. 506-64-9] のGHS分類データ】 \*\*\*

急性毒性	: 経口 ラット LD50 = 123 mg/kg 飲み込むと有毒 (経口) (区分3) 経皮 データがないため分類できない。 吸入 (蒸気) データがないため分類できない。 吸入 (粉じん) データがないため分類できない。
皮膚刺激性/刺激性	: RTECS (2005) のウサギを用いた皮膚一次刺激性試験結果の記述「Mild」から、4時間適用試験の結果ではないが、軽度の刺激性を有すると考えられ区分3とした (国連GHS分類)。 ただし、分類JISでは区分に該当しないである。

- 軽度の皮膚刺激（区分3）
- 眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性： RTECS（2005）のウサギを用いた眼刺激性試験の結果の記述「Severe」から、適用条件は不明であるが重度の刺激性を有すると考えられる。非可逆性が可逆性かのデータがないため、区分1-2Aに分類したが、安全性の観点から、区分1とした。  
重篤な眼の損傷（区分1）
- 呼吸器感受性又は皮膚感受性： データがないため分類できない。
- 生殖細胞変異原性： 分類できない。  
なお、CICAD(J)61(2004)およびPIM G003(WHO/ICPS, 1997)ではシアン化物には変異原性がないとされている。
- 発がん性： 知見データがなく、産衛学会やIARC、ACGIH、NTP、EPA、OHSAの国際評価機関の報告がないため、分類できないとした。
- 生殖毒性： データ不足のため分類できない。  
本製品のデータはなく、CICAD(J)61(2004)には「シアン化物は明らかに母獣に毒性がある投与量または濃度でのみ発生に対する有害な影響を誘起する」との記述があるものの、データ不足のため分類できない。
- 特定標的臓器毒性（単回ばく露）： 本製品のデータはないが、Priority 1文書のCICAD(J)61(2004)ではシアン化物の急性中毒の標的臓器として心血管系、呼吸器系、中枢神経系が記述されているので、区分1(心血管系、呼吸器系、中枢神経系)とした。  
心血管系、呼吸器系、中枢神経系の障害（区分1）
- 特定標的臓器毒性（反復ばく露）： 本製品のデータはないが、Priority 1文書のCICAD(J)61(2004)にはシアン化物の反復曝露は中枢神経系に影響を与えるとの記述があるため、区分1(中枢神経系)とした。  
ヒトについては、「銀沈着症」、「鼻への刺激、呼吸困難、出血、痂皮、鼻中隔穿孔」(HSDB (1998))等の記述があることから、皮膚、呼吸器が標的臓器と考えら、区分2(皮膚、呼吸器)とした。  
長期又は反復ばく露による中枢神経系の障害（区分1）  
長期又は反復ばく露による皮膚、呼吸器の障害のおそれ（区分2）
- 誤えん有害性： データがないため分類できない。
- \*\*\* 参考【シアン化カリウム〔CAS No.151-50-8〕のデータ】 \*\*\*
- 急性毒性： 経口 ラット LD50 = 10 mg/kg、7.49mg/kg (CICAD 61 (2004))  
飲み込むと生命に危険（経口）（区分2）  
経皮 ラット LD50 = 22.3 mg/kg (CICAD 61 (2004))  
皮膚に接触すると生命に危険（経皮）（区分1）  
吸入(蒸気) データがないため分類できない。  
吸入(ミスト) データがないため分類できない。
- 皮膚刺激性/刺激性： シアン化物は皮膚及び眼に弱い刺激性がある（CICAD 61 (2004)）ことから、区分3とした（国連GHS分類）。  
ただし、分類JISでは区分に該当しないである。  
軽度の皮膚刺激（区分3）
- 眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性： シアン化カリウムに関するデータはないが、シアン化物(Cyanide)として、軽度の結膜水腫、流涙、光恐怖症、刺痛を起こすことが報告されている（CICAD 61 (2004)）ことから、区分2Aとした。  
強い眼刺激（区分2A）
- 呼吸器感受性又は皮膚感受性： データがないため分類できない。
- 生殖細胞変異原性： データがないため分類できない。
- 発がん性： 知見データがなく、産衛学会やIARC、ACGIH、NTP、EPA、OHSAの国際評価機関の報告がないため、分類できないとした。
- 生殖毒性： データがないため分類できない。
- 特定標的臓器毒性（単回ばく露）： ヒトで、摂取後昏睡と徐呼吸に陥った、パーキンソン症候群を示した。剖検では淡蒼球と被核に最も重い障害が見られた、1時間以内に昏睡、無呼吸、代謝性アシドーシス及び痙攣が発生した（HSDB）。  
また脳（大脳）への障害も報告されているが、この報告はシアン化合物の毒性による初めてのパーキンソン病の臨床学的報告である（HSDB）。  
以上の記述から、区分2（中枢神経系）とした。  
中枢神経系の障害のおそれ（区分2）
- 特定標的臓器毒性（反復ばく露）： 実験動物で、腎臓、肝臓、及び甲状腺に変化が見られた（CICAD 61 (2004)）。近位尿管上皮細胞の水腫変性を反映していると思われる細胞質空胞化がみられた（CICAD 61 (2004)）。脊髄前角上の球状体、海馬の神経細胞喪失、ブルキンエ細胞障害及び小脳物質の欠損をも含む神経病理学的所見の記述がある（CICAD 61 (2004)）。以上のことから、区分1（甲状腺、腎臓、肝臓、脾臓、中枢神経系）とした。  
長期又は反復ばく露による甲状腺、腎臓、肝臓、脾臓、中枢神経系の

障害（区分1）  
誤えん有害性：データがないため分類できない。

## 12. 環境影響情報

## 生態毒性

水生環境有害性 短期(急性)：データがないため分類できない。  
シアン化合物のため、水生生物への急性有害性が疑われる。  
水生環境有害性 長期(慢性)：データがないため分類できない。  
シアン化合物であり、水中での挙動及び生物蓄積性が不明のため、水生生物への慢性急性有害性が疑われる。

残留性・分解性：データなし  
生物蓄積性：データなし  
土壤中の移動性：データなし  
オゾン層への有害性：本品はモントリオール議定書の附属書にリストアップされていないため、分類できないとした。

\*\*\* 参考【シアン化カリウム〔CAS No.151-50-8〕のデータ】 \*\*\*

## 生態毒性

水生環境有害性 短期(急性)：甲殻類（ミッシュドシュリンプ）LC50 = 0.113mg/L/96H  
(ECETOC (2003))  
水生生物に非常に強い毒性（区分1）  
水生環境有害性 長期(慢性)：急性毒性が区分1、水中での挙動及び生物蓄積性が不明のため、区分1とした。

残留性・分解性：データなし  
生物蓄積性：データなし  
土壤中の移動性：データなし  
オゾン層への有害性：本品はモントリオール議定書の附属書にリストアップされていないため、分類できないとした。

## 13. 廃棄上の注意

残余廃棄物：関連法規ならびに地方自治体の基準に従って廃棄する。  
都道府県知事などの許可（収集運搬業許可、処分業許可）を受けた産業廃棄物処理業者に、産業廃棄物管理票（マニフェスト）を交付して廃棄物処理を委託する。  
廃棄物の処理にあたっては、処理業者等に危険性、有害性を充分告知の上処理を委託する。  
なお、本品はシアン化合物であり特別管理産業廃棄物に該当するため、廃棄においては特に「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」の特別管理産業廃棄物処理基準に従うこと。  
本製品を含む廃液及び洗浄排水を直接河川等に排出したり、そのまま埋め立てたり投棄してはいけない。  
（参考）(1)分解・埋立法  
廃棄する場合は、水酸化ナトリウム水溶液を加えてアルカリ性(pH11以上)とし、酸化剤（次亜塩素酸ナトリウム、さらし粉等）の水溶液を加えて30分以上攪拌しCN成分を分解する。（アルカリ性でのシアン成分の酸化は十分に時間をかけること。）その後硫酸を加えて中和し、水酸化物として沈殿濾過する。水酸化物の溶出試験を行い、溶出量が判定基準以下であることを確認して埋立処分する。  
(2)還元焙焼法  
大量の場合は、還元焙焼法を用いて金を回収する。  
汚染容器及び包装：内容物により汚染された容器及び包装材は、関連法規の基準に従って適切に処分する。  
空容器を廃棄する場合は、内容物を除去した後、産業廃棄物処理業者に処理を委託する。

## 14. 輸送上の注意

緊急時応急処置指針番号：157

## 国際規制

海上規制情報（IMDG/IMOコードの規定に従う）

UN No.：1588  
Proper Shipping Name：CYANIDES, INORGANIC, SOLID, N.O.S.  
Class：6.1（毒物）  
Sub risk：-  
Packing Group：II  
Marine Pollutant：Yes（該当）  
TRANSPORT IN BULK ACCORDING TO ANNEX II OF MARPOL 73/78 AND THE IBC CODE

POLLUTANT CATEGORY	: No (非該当)
Limited Quantity	: 500g
航空規制情報 (ICAO-TI/IATA-DGRの規定に従う)	
UN No.	: 1588
Proper Shipping Name	: Cyanides, inorganic, solid, n.o.s.
Class	: 6.1
Sub risk	: -
Packing Group	: II
国内規制	
陸上規制情報 (毒物劇物取締法、道路法の規定に従う)	
海上規制情報 (船舶安全法/危険物船舶輸送及び貯蔵規則/船舶による危険物の運送基準等を定める告示に従う)	
国連番号	: 1588
品名	: 無機シアン化物 (固体。他に品名が明示されているもの並びにフェリシアン化物及びフェロシアン化物を除く。)
クラス	: 6.1
副次危険	: -
容器等級	: II
海洋汚染物質	: 該当
MARPOL73/78付属書II及びIBCコードによるばら積み輸送の有害液体物質の汚染分類	: 非該当
少量危険物許容量	: 500g
航空規制情報 (航空法/航空法施行規則/航空機による爆発物等の輸送基準を定める告示に従う)	
国連番号	: 1588
品名	: 無機シアン化物 (混合物を含む。他に品名が明示されているものを除く。)
クラス	: 6.1
副次危険	: -
等級	: II
少量輸送許容物件許容量	: 1kg
特別の安全対策	: 輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実にを行う。 食品や飼料と一緒に輸送してはならない。 重量物を上積みしない。 車輛等による運搬の際にはイエローカードを運搬人に保持させる。

## 15. 適用法令

労働安全衛生法	: 非該当 名称等を表示すべき危険物及び有害物(法第57条の1)(R7年4月1日以降該当) 名称等を通知すべき危険物及び有害物(法第57条の2)(R7年4月1日以降該当) 危険性又は有害性等を調査すべき物(法第57条の3)(R7年4月1日以降該当)
化学物質排出把握管理促進法 (PRTR法)	: 非該当 (無機シアン化合物の錯塩のため非該当)
消防法	: 消防活動阻害物質 政令第1条の10「届出を要する物質」(30kg)
毒物劇物取締法	: 毒物「無機シアン化合物」(指定令第1条第8号)、包装等級
船舶安全法	: 毒物類・毒物(危規則第2, 3条危険物告示別表第1)
航空法	: 毒物類・毒物(施行規則第194条危険物告示別表第1)
海洋汚染防止法	: 海洋汚染物質
大気汚染防止法	: 「無機シアン化合物」は「有害大気汚染物質」であるが、本品は無機シアン化合物の錯塩であるため、非該当。
水質汚濁防止法	: 有害物質(施行令第2条) 「シアン化合物」【排水基準】1mg/L (CN) 以下
土壌汚染対策法	: 第2種特定有害物質(政令第1条第4号) 「シアン化合物」【溶出量基準値】不検出(CN) 【含有量基準値】50mg/kg(CN-)
輸出貿易管理令	: キャッチオール規制(別表第1の16項) HSコード: 2837.20 第28類 無機化学品 ・輸出統計番号(2022年版): 2837.20-000 「シアン化物、シアン化酸化物及びシアノ錯塩 - シアノ錯塩」 ・輸入統計番号(2022年1月1日版): 2837.20-000 「シアン化物、シアン化酸化物及びシアノ錯塩 - シアノ錯塩」

## 16. その他の情報

(注) 本品を試験研究用以外には使用しないで下さい。

## 取扱注意事項 :

本製品の取扱いは毒物劇物取締法の規定に従い、購入、保管、使用及び廃棄には細心の注意を払うこと。毒物劇物取扱等の責任者は、必要に応じ取扱う者に対し労働安全衛生、漏洩防止、緊急時の対応、環境影響、使用記録、保管庫施設、紛失盗難防止などについて教育、訓練を実施し、事故の予防に努めること。

## 参考文献 :

化学物質管理促進法PRTR・MSDS対象物質全データ	化学工業日報社
労働安全衛生法MSDS対象物質全データ	化学工業日報社(2007)
化学物質の危険・有害便覧	中央労働災害防止協会編
化学大辞典	共同出版
安衛法化学物質	化学工業日報社
産業中毒便覧(増補版)	医歯薬出版
化学物質安全性データブック	オーム社
公害と毒・危険物(総論編、無機編、有機編)	三共出版
化学物質の危険・有害性便覧	労働省安全衛生部監修
Registry of Toxic Effects of Chemical Substances NIOSH	CD-ROM
GHS分類結果データベース	nite(独立行政法人 製品評価技術基盤機構) HP
GHSモデルMSDS情報	中央労働災害防止協会 安全衛生情報センター HP

このデータは作成の時点における知見によるものですが、必ずしも十分ではありませんし、何ら保証をなすものではありませんので、取扱いには十分注意して下さい。なお、この安全データシート(SDS)はJIS Z 7253:2019に準じ作成しています。